



## 高齢者の摂食・嚥下障害の特徴



■加齢による嚥下障害は、全身が衰えるのと並行して、また日常的に少しずつ出現してくるため、本人も家族も「咳き込みやすくなった」「年だからしかたない」と気付かないまま経過していることがあります。

■脳血管障害などの基礎疾患の影響や風邪をひいたり、手術によって絶食期間が続いたり、薬の影響などで重篤な嚥下障害をきたすことがあります。

### 加齢が嚥下に及ぼす影響



若年者



高齢

高年齢者は喉頭の位置が下がる！  
飲み込む時の圧力が弱くなり、  
のどに残る！

飲み込む力が弱くなる

噛む力が若い頃の  
1/3～1/4に衰える

歯の欠損、唾液腺の  
萎縮による咀嚼機能  
の低下

味覚細胞(特に塩味・  
甘味)が減少する



腸の運動能力が低下し、消化機能が  
衰え便秘がちになる

高齢者の場合は、注意力や集中力などによる摂食意欲の低下や認知機能の低下などの症状により、誤嚥リスクが高くなることがあります。

嚥下障害の可能性に注意しながらケアをすすめていくことが重要です。

# 平成26年度 第4回・第5回 NST研修会報告

第4回 2014.9.3 (水) 17:30~18:30

第5回 2014.10.1 (水) 17:30~18:30 3階講堂

## テーマ『経腸栄養管理を学ぼう Step1・Step2』

講師: 栄養科 八木まり、薬剤部 山谷雅子

第4回・第5回NST研修会では、経腸栄養剤や経鼻経腸栄養用チューブ（フィーディングチューブ）など、患者様に使用しているものと同じものを実際に使用しながら、経腸栄養に関する様々な知識についてクイズ形式で楽しく学びました！

### ●経腸栄養剤の飲み比べクイズ●



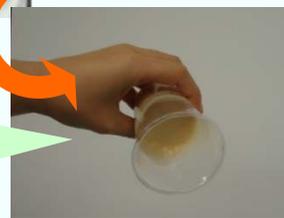
3種類の濃度の栄養剤  
(2kcal/ml、1.5kcal/ml、  
1kcal/ml)を飲み比べました

### ●栄養剤の固形化体験●



数分で栄養剤が  
固形化しました  
(コップを傾けても  
こぼれない!!)

胃内で固形化する  
栄養剤(ハイネイゲル)  
に胃酸に見立てた  
酢を混ぜてみると...



### ●経鼻経腸栄養用チューブの使用体験●



### ●薬剤の配合変化について●

レボドパ製剤と酸化  
マグネシウム製剤を  
一緒に簡易懸濁する  
とこんなに真っ黒に！  
→必ず別々に懸濁し  
て投与しましょう



お知らせ

第6回・第7回 院内NST研修会

《摂食・嚥下について学ぼうStep1・Step2》

**11月5日(水)・12月3日(水) 17:30~18:30 南館講堂**

どの職種でも参加可能です。栄養に興味のある方ならどなたでもご参加下さい！！